

# \*ピースウィンズ・ショップから\*

ギフトとチョコレートのシーズン到来!  
世界の笑顔につながる贈り物は  
いかがですか?

クリスマスギフト・年末ギフト・新春ギフトの季節がやってきました!東ティモール応援ギフトやワンコ応援ギフト。ピースウィンズ・ショップの商品を通じて、国内外でサポートを必要としている方々の笑顔作りに参加してみませんか?ラッピングや熨斗(のし)、メッセージカード添付なども承ります。

秋冬限定のピープルツリーチョコレートの販売もスタート!今年は昨年のラインナップに加えて「ホワイト・アーモンド」と「ペルー75」が新登場。澄んだ空気香る秋冬シーズンを、上質なチョコレートと共に過ごされてみてはいかがでしょうか。大切な方への贈り物はピースウィンズ・ショップで!



ご注文は、<https://pwshop.ocnk.net/>

FAX:03-3465-2112 またはTEL:03-5738-8021まで

\*ピースウィンズ・ショップの収益はPWJの支援活動に活用されます。

## 支援地レポート

### バングラデシュ ロヒンギャ危機から1年 長期化する支援活動

2017年8月25日、ミャンマーで発生した武力衝突により隣国のバングラデシュには女性や子どもを中心に70万人以上の難民が流入しました。

昨年11月から現在までPWJは現地団体と協力し、診療所の運営や啓発活動など医療面での支援をおこなっています。多い日には300人以上が診療所を訪れ、診療やカウンセリングなどを受けています。また、出産もサポートする診療所では、これまでに36の新しい命が誕生しました。



### スポーツを通したパートナーシップ 湘南ベルマーレ×PWJ

PWJは多様なパートナーと連携し、社会課題の解決に取り組んでいます。サッカーJ1の湘南ベルマーレもその1つです。これまで「希望のボールプロジェクト」を通して、サポーターの皆さんから提供されたサッカーボールをイラク、インドネシア・アチェ州、シエラレオネ、東ティモールなどに届けてきました。そして今年はパレスチナ・ガザ地区の子どもたちに、「希望のボール」が届けられます。

種子島ほどの広さに200万もの人が住み、「天井のない監獄」と呼ばれるガザ地区でも、子どもたちはサッカーが好き。そんな子どもたちに、湘南からボールとともに希望と喜びを届けます。



発行／特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン  
本部事務所:〒720-1622 広島県神石郡神石高原町近田1161-2 2階 ☎0847-89-0885(代表)  
東京事務所:〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階 ☎03-5738-8020 フリーダイヤル☎0120-252-176  
佐賀事務所:〒840-0831 佐賀市松原1-3-5 ゼロワン佐賀ビル6階 ☎0952-20-1607  
ホームページアドレス <https://www.peace-winds.org> Eメールアドレス [meet@peace-winds.org](mailto:meet@peace-winds.org)

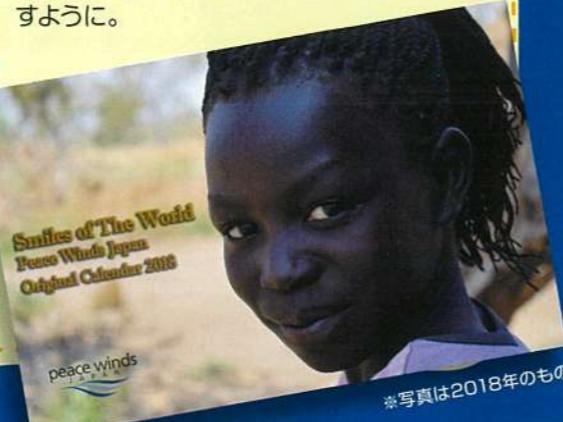
\*発行人/大西健次 編集責任者/里情三 執筆協力/徳惠利子、大石雅美 レイアウト/菅野加代子

## PWJオリジナルカレンダー販売開始!

気がつけば2018年もあっという間に過ぎ、2019年が徐々に近づいてきました。毎年ご好評をいただいているピースウィンズ・ジャパンカレンダーが今年も登場です!

PWJが支援活動を行っている地域の子どもたちの笑顔を集めたPWJオリジナルカレンダー「Smiles of The World」。カレンダーの向こう側から命の尊さが伝わってくる、そんな仕上がりになっています。ご自宅や職場、ギフトに是非ご利用ください。

皆様お一人お一人の素敵な思い出がカレンダーに書き込まれていきますように。そして2019年が災害のない良い年でありますように。



※写真は2018年のもの



# 今も続豪雨か、被災地支援

7月初め、西日本は記録的な豪雨に襲われた。124の観測地点で48時間雨量が史上最多を記録し、洪水や土砂崩れで、岡山、広島、愛媛の3県を中心に死者225人、住宅の全半壊1万棟以上という大きな被害が出た。一時124万5千人に出された避難指示・勧告により、小学校や公民館などの避難所には大勢の避難者が押し寄せ、支援物資が間に合わないどころか、避難所にさえ入れない人もいた。

認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)は7月7日、ヘリコプターを使い、岡山県倉敷市真備町を中心に被害情報を収集した。調査に向かったスタッフから送ってきたのは、一級河川である小田川から水があふれ、家も田畠も一面の泥水に覆われた写真だった。場所によっては、水は民家の1階の屋根を越え、2階の軒先にまで達していた。

翌8日朝、PWJのレスキューチームが向かったのは、真備町の中心部にある「まび記念病院」。1階部分が完全に水没したこと、一時300人以上の患者やスタッフが孤立していた。電気が止まったことにより、生命を維持する装置が使えないなど一刻を争う患者も少なくなかった。PWJは早急に治療が必要な患者8人をヘリで岡山大学病院と岡山赤十字病院に緊急搬送し、なんとか最悪の事態は免れた。自衛隊などと協力し、他にも11人をボートで脱出させた。

「平成最悪」といわれる豪雨の発生から、早くも3か月が経とうとしている。被災地では仮設住宅への入居が進み、不通になっていた鉄道の運行が再開するなど、生活再建に向けた歩みが始まった。しかし、住宅や公共施設などの復旧は思うように進まず、地域の復興はまだ緒についたばかりだ。

PWJは、避難所運営のサポートや医療・保健支援、物資の提供などを通じて被災した人たちに寄り添い、今も現場で活動を続けている。今回のニュースレターでは、発生直後から現在に至るまでのPWJの主な活動を紹介する。

“2面へ続く”

peace winds  
JAPAN

支援のプロを、  
世界の現場へ

## 病院でのレスキュー活動

豪雨により浸水した倉敷市真備町の「まび記念病院」では電気・水道が使えず、病院自体が機能しなくなりました。PWJはヘリコプターなどを用いて、計19人の患者を岡山大病院と岡山赤十字病院に搬送しました。



## 避難所運営のサポート

真備町の菌小学校避難所にスタッフを派遣し、運営をサポートしました。体育館にマットを敷いて寝ていた避難者のために、建築家の坂茂さんと協力し、段ボールと布による間仕切りでプライベート空間をつくりました。また、炊き出しやイベントの開催など様々な形で避難所の運営をサポートしました。



## 物資支援

国内での自然災害の際に企業とNPOが連携する緊急災害対応アライアンス「SEMA」などを通じ、洋服や下着、マットなどの生活必需品を広島県呉市・三原市・坂町、岡山県倉敷市・総社市、愛媛県上島町で配布しました。8月からは、ジャパン・プラットフォーム（JPF）や米国国際開発庁（USAID）の助成を受け、3県で仮設住宅などに入居する世帯の一部に、生活家電や寝具などを提供しています。



## 医療・保健支援

避難所ではPWJの医師が巡回診療もしました。昼間に仕事や片付けのために一時帰宅する人が多いことから、菌小学校にトレーラーを設置し、日本赤十字社や災害人道医療支援会（HuMA）などと協力して夜間も診療を行いました。8月からは、真備町内の病院、診療所、訪問看護ステーションに医療用備品などを提供し、地域医療の復興をサポートしています。



## ペットの一時預かり

一部の避難所ではペット同伴が禁止され、避難所の外や車で避難生活を送る人も見受けられました。また、昼間にペットを預ける必要がある人もいたため、岡山県獣医師会や関係団体と協力し、真備町の「真備総合公園」でペットの無料一時預かり所（ワンにゃんディケアハウス）を運営しています。



## 一団体・企業から多くのご支援をいただきました(順不同)

※9月5日までの入金分または物資支援を頂いた企業/団体のみ掲載しています  
アメリカ合衆国国際開発庁 / ジャパン・プラットフォーム / 緊急災害対応アライアンス「SEMA」 / 株式会社さくら印刷 / 株式会社ファーストリテイリング / 株式会社ユナイテッドアローズ / J.S.Foundation / 村上財団 / ホテル The View せとうち / FCA 株式会社 / リコー社会貢献クラブ・FreeWill / 株式会社 Brillar / HRインスティテュート / エンジェルホール / 株式会社リブセンス / 株式会社 Francfranc / 株式会社有隣堂 / 三菱電機労働組合連合会 / UBS 証券株式会社 / キャスキッドソンジャパン株式会社 / リーバイ・ストラウスジャパン株式会社 / 株式会社ミュゼプラチナム / 味の素株式会社 / 株式会社皇漢薬品研究所 / サボースデザインオフィス株式会社 / リコージャパン株式会社 / 株式会社グラコネ / 日興アセットマネジメント / 日興 AM 従業員チャリティプログラム /マイクロソフト / 三菱ケミカル株式会社 / 有限会社チャンジ・エージェント / 株式会社ライフサポート / 有限会社シーオーダブルシーオー / 伊藤忠株式会社 / 船舶海洋部 / 株式会社山田養蜂場 / マース ジャパン リミテッド / 株式会社たかくら新産業 / 富士フィルター工業株式会社 / 有限会社 SIESTA / ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社 / 全国ソフトウェア協同組合連合会 / 社会福祉法人クビド・フェア / 富士ライクリエーション / 公益社団法人 毎日新聞東京社会事業団 / 株式会社ヒロコーヒー / キヤノンマーケティングジャパン株式会社 / 株式会社グティ / 合同会社 LGBT-JAPAN

個人でご寄付をいただいた方 約480名(2018年9月5日時点)

## 北海道胆振東部地震 厚真町での支援活動

9月6日、北海道で最大震度7の地震が発生したことを受け、PWJは提携団体と合同チームを結成し、レスキュー・医療スタッフと災害救助犬3頭を現地に派遣しました。厚真町では当初19人の安否が確認できていなかったため、PWJは自衛隊や警察とも協力し捜索を行いました。また、日本赤十字社と協力して医療面での支援を行ったほか、被災者に衣類や衛生用品などを届けました。



## 13,000以上の建物が倒壊 インドネシア・ロンボク島での支援

8月5日、インドネシアの観光地として知られるロンボク島をマグニチュード7.0の地震が襲いました。断続的に余震が続いたこともあり、13,000以上の建物が倒壊し、死者は515人に上りました。被災地の復興には時間を要しており、約40万人が未だに避難生活を強いられています（インドネシア国家防災庁8月21日発表）。

発生直後、PWJはパートナー団体と緊急合同チームを結成し、医療スタッフ、緊急支援スタッフ、レスキューチーム及び災害救助犬を現地に派遣しました。現地のパートナー団体であるインドネシア人道機関ACT (AKSI CEPAT TANGGAP) とも協力し、8月17日には3つの集落の計240世帯に米や食用油、砂糖などを届けました。



## 4か国17名の子どもたちが参加 PWJジュニア・グローバルシチズン・サマーキャンプ2018

PWJは、紛争や災害などで被災した子どもたちと山間部や離島で暮らす子どもたちが、国際的な交流体験を通して学びを深めることを目的に、サマーキャンプを開催しました。キャンプは7月24日～30日の日程で、緑豊かな広島県神石高原町と、瀬戸内海の島よし部である愛媛県上島町で行われました。

初開催となった今年は、韓国、シリア、アメリカ、日本の4か国から17名の子どもが参加しました。様々な分野の第一線で活躍するゲストスピーカーによるレクチャーや、野外活動、グループワークなど、盛りだくさんの内容で行われました。



## PWJの活動にご協力ください

※認定NPO法人のPWJに対するご寄付は、寄付金控除の対象となります。

### 【郵便振替】

口座番号：00160-3-179641

加入者名：特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

※特定の地域・活動へのご支援の場合は、通信欄に国名等（西日本豪雨の場合はその旨）を明記してください。

### 【銀行口座】

●PWJの活動全般へのご寄付

銀行名：三井住友銀行 青山支店

口座番号：普通 1671932

口座名義：特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン広報口

●PWJの東日本震災支援へのご寄付

銀行名：三井住友銀行 桜新町支店

口座番号：普通 6723184

口座名義：特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン

※領収書が必要な場合などはご連絡ください。ご連絡をいただかない場合、銀行振込ではご住所が分かりかねますので、領収書を発行できません。